

特集●ヒトと家畜・ペット・野生動物の感染症～口蹄疫から学ぶ～

家畜の主な伝染病	東京農工大学農学部獣医学科獣医伝染病学講座	白井 敦資
家畜の伝染病対策	動物衛生研究所疫学研究チーム	筒井 俊之
家畜と動物由来感染症	岐阜大学大学院医学系研究科再生分子統御学講座	江崎 孝行
BSEの世界の現状と対策の評価	国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部	山本 茂貴
ペット(イヌ・ネコ)と動物由来感染症		
① カブノサイトファーガ・カニモルサス感染症	国立感染症研究所獣医科学部	鈴木 道雄
② コリネバクテリウム・ウルセランス感染症	国立感染症研究所細菌第二部	岩城 正昭
野生動物と動物由来感染症		
① つつが虫病と日本紅斑熱	馬原医院	馬原 文彦
② ダニ媒介脳炎	北海道大学大学院獣医学研究科環境獣医科学講座	荀和 宏明
チクングニヤ熱	国立感染症研究所ウイルス第一部第2室	高崎 智彦
E型肝炎	国立感染症研究所ウイルス第二部	石井 孝司, 李 天成
● 視点		
喫煙対策と肥満対策に思う	大阪府立成人病センターがん相談支援センター	大島 明

あ と が き

私が本格的に衛生行政の仕事をしたころの救急医療のトピックスは、救急救命士の養成とメディカルコントロール(MC)体制の構築でした。救急医療を救うための新たな制度の幕開けを予感して、保健所主催の会議の冒頭、張り切って所長としての所感を述べたつもりが、誤って「救急救急士」という表現を繰り返し、失笑を買ったことが忘れられません。その反撃(?)という気持ちも少しあって、「MCという用語はわかりにくい。別の呼び方はないのですか?」と消防担当者に質問したことを今でも鮮明に覚えております。MCという単語からは、救急救命士等による救急活動の「質を保証(quality assurance)」を医学的見地から総合的に行うという本来の意味が、全く連想できなかったからです。

その後もMCに替わる新しい用語は生まれなかったものの、救急医療を取り巻く環境が厳しさを増す中で、救急医療の質を高め、救急医療を救うための取り組みは確実に進化(深化)しています。「救急医療は崩壊の危機」といった報道もなされますが、今号の特集論文を通読すると、明るい光もたくさん見られました。救急医療に関する地域住民の理解と住民参加型活動の重要性、「守りの救急医療」から「攻めの救急医療」への転換、DMATで代表される標準化とシステム化を包含した人材育成が平時の救急医療体制の強化という波及効果を生んでいること、などです。そして何よりも、救急医療を救うことが「医療再生」の必須条件であり、それが可能であることを実感した特集でした。(阿彦忠之)

公衆衛生(第74巻 第12号) 2010年12月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,415 円(本体 2,300 円+税 5%)

(2010 年年ぎめ予約購読料 28,200 円 電子ジャーナル閲覧オプション付 36,700 円 ※配送料弊社負担)

発行：株式会社 医学書院 代表者 金原 優 ☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

本誌編集室(担当/野中・今田)：直通 TEL(03)3817-5718 FAX(03)3815-7802 E-mail: koshu@igaku-shoin.co.jp

販売部：直通 TEL(03)3817-5659・5660 FAX(03)3815-7804 振替口座：00170-9-96693 番

印刷所：三美印刷(株) TEL(03)3803-3131

広告申込所：(有)メディカ・アド TEL(03)5776-1853 デザイン：デザイン・プレイス TEL(03)6426-7805

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

© 2010, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ **JCOPY** (社) 出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつと事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

・ 公衆衛生 URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/koshu/>

編集顧問

多田 羅浩三 大阪大学名誉教授・放送大学教授

編集委員 (50 音順)

阿彦 忠之 山形県健康福祉部次長・山形県衛生研究所長

品川 靖子 前 東京都文京区保健衛生部・文京保健所保健サービスセンター所長

高鳥 毛敏雄 関西大学社会安全学部教授

西田 茂樹 福島県衛生研究所長